

# 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

このトラブルシューティングガイド Addresses エラーはシステム セットアップの間に無効 なクレデンシャル仕様による Cloud のためのインテリジェント オートメーションの内の認可と、普通関連付けました。無効 な 資格情報が供給されるとき、LicenseInfo 表の無効 な値を示すエラーはさまざまなサービスの送信するで示されます。

## はじめに

### 要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解する必要があります。

- 基本的な Cisco Process Orchestrator 管理
- 基本的な Cisco クラウド ポータル 管理

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Intelligent Automation for Cloud バージョン 3.1.1

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

Cisco IAC 3.1.1 を展開するとき、いくつかのサービスがかもしれないライセンス 表の無効 な値に関する Display エラーはかもしれないです。これらのエラーはライセンス 表内の重複を示します。

ライセンス 表内の値の重複はプロセス オーケストレータ ( PO ) がそれがライセンス 表からの値

を読み取るようにする資格情報で設定されないとき起こります。この状況は「admin admin」アカウントが Cloud ポータル ( CP ) 資格情報への PO のために使用されるとき発生します。

認可失敗は 2 つの故障 モードの 1 つを表わします。最初の故障 モードは上述されているエラー無効 な値を引用するポスト送信エラーです。2 回目の 失敗 モードはスタート版と同等のライセンス モードに終ってライセンス データを、まったく読み込む失敗完全な製品存在のための有効なライセンスでも。

無効なライセンス データを確認し、管理権限の CP にログイン し、サービス項目マネージャ モジュールを使用してシステム Setup->System サービス ライセンス サービス項目 表にナビゲートするため。IAC 3.1.1 では、表は 9 つのレコードが含まれているはずで、9 つ以上のレコードがある場合、そのうちのいくつかは表を読む PO の不可能を示す重複です。9 つ以下のレコードがある場合、PO が表に書くことができないことを示します。

## 解決策

認可エラーへのソリューションは CP と相互に作用していると同時に PO に正しいユーザコンフィギュレーションがあることを確かめることです。ユーザコンフィギュレーションが正しければ、既存の重複したレコードは削除する必要があります。

このエラーをクリアすることはから読み、CP に書くのに PO によって使用される資格情報の修正を必要とします。資格情報が訂正された後無効 なサブスクリプション データをクリアし、重複を取除くために、既存 のライセンス値は設定し直す必要があります。下記のステップは修正およびリセットプロセスを援助します。

1. ステップ 1: IAC 3.1.1 ホットフィックス 1 が適用することを確認して下さい。このホットフィックスはミスコンフィギュレーションを検出する、無効 なレコードが書かれていることを防ぎます。
2. ステップ 2: PO では、サービス ターゲットによって拡張されるターゲット プロパティの設定を、Cloud.Configuration.CloudPortal.API.User チェックして下さい/訂正して下さい。このプロパティの値はない「admin」nsapi サービス アカウントのログインID であるはずで
3. 手順 3: PO では、次の 2 つのターゲットの動作時ユーザ情報をチェックして下さい/訂正して下さい: - Cisco クラウド ポータル 統合 API Cisco サービス ポータル サーバー。動作時ユーザが nsapi サービス アカウントであること、ない「admin」を確認して下さい。
4. ステップ 4: ユーザ情報がアップデートされた後、CP に移動し、システム サービス ライセンス 表のすべてのレコードを削除して下さい。システム サービス ライセンス 表が選択される、親で、システム セットアップであってはなりませんこと絶対に確実。サービス項目マネージャがページ毎に 10 のレコードだけを表示することに注意して下さい。無効 なレコードすべてを削除することは複数の強調表示を必要とし、オペレーションを削除するかもしれません。
5. 注: ライセンス 表のコンテンツだけ取除かれる限り、害は Cloud ポータルからライセンス データを削除することの来ることができません。それはすべてリフレッシュされた次の時間認可実行です ( 手動でまたは一時間毎スケジュールで )。手動で重複したレコードを削除する必要がありません。すべてのレコードを削除することは大いに安全で、それらが再製されるようにしました。
6. ステップ 5: CP システム セットアップ portlet では、ステップ 2 へのナビゲートは、初期化し認可を、入れます認可要求を選択し。これはまた About 画面で達することができます。認可の後で購入された About 画面を値がライセンスのために正しいことを確かめるため

に完了しましたり、検査します。これはまたライセンス表で直接検討することができます  
(ステップを4)参照して下さい。

## [関連情報](#)